

社会福祉法人 春風会

令和7年10月20日

はるかいぜ やまゆり荘

第101号

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田2515 TEL. 0279-75-6517

やまゆり荘

食事会



猛暑の夏はどこに行ってしまったのでしょうか。朝晩冷え込み、日中は空が高く、季節はすっかり秋を迎えています。

毎年恒例の食事会を10月8日(水)のお昼より行いました。

メニューはいつも大好評のお赤飯・白米おにぎりにけんちん汁・鶏のから揚げ・野菜コロッケ・きゅうりと白菜の浅漬け・焼きまんじゅう・ドリンクを準備しました。今年は揚げ物を提供したいと職員から意見が上がり、から揚げ、コロッケが加わりました。「どれもおいしく食べたよ」「お赤飯がとっても美味しい」「野菜を切るのが大変だったでしょう」「お外で食べるとおいしいね」と嬉しい感想をいただき皆様、満足していただけたようでした。

毎年毎年、天気には恵まれず、室内での開催でしたが、今年は朝から晴天で、皆さん入れ替わり外で食事を召し上がっていただけました。食べることは生きること。これからも入所者様、利用者様の皆様に楽しんで食事をしていただけるよう職員皆で頑張っていきます。

生活相談員 加部 愛



くるみんマーク (子育てサポート企業) の認定について

法人として、平成14年に初めての育休者がありましたが、それと同時に家庭の事情によって職場復帰が難しい場合に、法人独自の育児休業の延長や育児短時間勤務の期間延長を導入するなどオープン当初より子育て支援に力を入れてもらっていました。

また平成21年に男性職員も育児休業を目指そうと「くるみん認定」に取り組んだと記憶しております。その後も子育てと仕事の両立が図れるように時間単位の年休や育児目的休暇など様々な取り組みをしていただきました。また家族に職場を知ってもらい、職場との信頼感を築くため「FAMILY DAY」の開催もありました。

私もこのような取り組みのおかげで4人の子供を育てながら勤めることができています。育児休業者は女性が延べ32名で取得率100%・男性は6名が取得しています。

くるみんマーク認定については、平成24年・27年・令和3年に続いて4回目の認定となりました。今後も私たち経験者が「子育てと仕事の両立が図れるよう」職員の声に耳を傾けやっていきたいと思っています。

生活相談員 加部 愛



令和7年9月2日 くるみん認定交付式



群馬労働局長
上野康博 様



吉田彌生様 100歳のお祝い

7月20日に吉田彌生様が100歳のお誕生日を迎えられ、28日に施設でお誕生日会を行いました。

当日は中之条町長様をはじめ、町の職員の方々が来荘してくださり、花束・慶祝状・お祝いの品をいただきました。

施設からも手作りケーキをご用意し、皆様に召し上がっていただきました。

雪グループでは、100歳を迎えられている方が3名いらっしゃいます。

これからもお元気でお過ごしてできるよう、職員一同サポートさせていただきます。

彌生様100歳のお誕生日おめでとうございます。

介護係 三村 世奈

敬老会



なごみグループでは、9月18日に敬老会を行いました。

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日として慶祝状と出来立ての手作りおやつを皆様に召し上がっていただきました。

過ごしやすい季節になってきましたが、利用者様又そのご家族様のサポートが出来るよう努めて参ります。

介護係 田村 信之



デイサービスでは今年も利用者様に敬老祝いの贈り物として、恒例となっている職員手作りのアルバムと和菓子を用意しました。感謝の意を込めたアルバムは、二つ折りの色紙に利用者様それぞれの笑顔の写真を貼り「日々是好日」の言葉を添えてあります。準備するにあたっては、皆さんの笑顔の写真にふれ、職員自身が穏やかな気持ちになれたひとときでした。笑顔は、更にまた笑顔を呼ぶパワーがあると改めて感じました。

さあ、また今日から次回に向けて、皆さんが笑顔ある日々を過ごして行けますよう支援すると共に、シャッターチャンス逃さぬよう努めて行きたいと思います。

生活相談員 佐藤 博美

敬老祝い



ケアハウス 慶朗会

感謝

9月14日、慶朗会を行いました。

今年度は、白寿・卒寿・米寿・喜寿を迎えられた4名の方に慶祝状を送らせていただきました。

昼食にはお寿司をご用意し召し上がっていただきました。

「お寿司は久しぶりだね」「美味しくて全部食べたよ」と沢山の笑顔を見られ、職員も笑顔の時間を過ごすことが出来ました。

慶祝品として、日頃の感謝を込めて洗濯洗剤を贈らせていただきました。皆様に喜んでいただけて良かったです。

これからも皆様に心穏やかに、笑顔で過ごしていただけるよう努めてまいります。

介護係 篠原 未貴





月グループでは8月19日に、入所者様にお好きなアイスを選んでいただく「アイスバイキング」を行いました。

「美味しい」と皆様喜んでくださり、たくさんの笑顔が見られました。

今年の夏は特に暑かったので、冷たいアイスがより一層美味しく感じられたご様子でした。

これからも皆様にお楽しみいただける企画を考えていきます。

介護係 エランディカ



8月29日に花グループでは、夏祭りを行いました。たこ焼き・わたあめ・かき氷・スイカ割りを行いました。たこ焼きは野菜入りで栄養たっぷりなので、入

所者様もとても喜ばれていました。

わたあめは「甘〜い」、かき氷は「冷た〜い」と入所者様のいいリアクションが見られました。スイカ割りは、皆さん本気で棒を振り回すので、アッというに割れてしまいました。スイカが割れると歓声が「わ〜!!」と上がり、とても盛り上がりました。夏を満喫できたのではないかと思います。また、来年の夏祭りが楽しみです。



サブリーダー 飯野 春奈

特養に入所されている茂木栄子様の短歌と
作文をご紹介します。



栄子の部屋 第四弾

まどべより あがりしはなび みておれば
かぞくそろって みていたころが

かぞくでも くにのせいじも おなじこと
いけんあわねば くじけちゃんらぬ

ていねいに ひとりひとりに あいさつの
しせいくずさぬ ひととははじめて

わかきひは おもいもよらぬ こうけいに
しょくいんさんの ごくろうおもう

とじこめた こころのおくに ひがとまり
たのしくいきよと はげましあいて



八月六日
八十ねんたっても、あのころのおそ
ろしさは、はっきりおぼえています。
しゅうせんごでも、わたしたちのあ
たまのうえをB29がゆうゆうと、とん
でいました。
そのご、せいかつのちがいから、う
えのがっこうにすすむひと、はたらき
にでるひとにわかれしました。

八月二日
いま、おもえば わたしたちのじだ
いは、いえのつごうで、しょうがつこ
うにもまんぞくにいけないひとが、な
んにんもいました。
とうもろこし、さつまいも、じゃが
いも、などおべんとうにもっていき
るひとはよいほうで、おかゆや、おじや
では、がっこうはやすみ、いえのてつ
だいです。
じぶんもいえでほんをひろげたこと
はなかったです。

次回もいい歌を紹介していきたいと思いますのでよろしくお願いします。 相談室

流しそうめん



すいせんの里では、7月24日に毎年恒例の流しそうめんを行いました。

今年も天候に恵まれ野外で行う事が出来ました。今年は、猛暑対策で野外のテントを増やしたり、大型扇風機を使用し暑さ対策をしっかりと行いました。

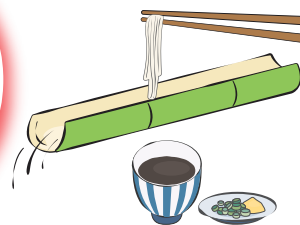
皆さん、流しそうめんが始まると楽しそうに「冷たくて、美味しい」「麺が好きだからうれしい」と話されながらそうめんを召し上がられていました。

また、天ぷらも「かぼちゃが甘くて美味しい」と皆さん、心配な程たくさん召し上がっていました。

暑さにも負けず元気に過ごしていただけるよう、職員一同サポートさせていただきます。



介護係 富澤 敬彦



自然災害時避難訓練 兼

災害時における業務継続計画研修

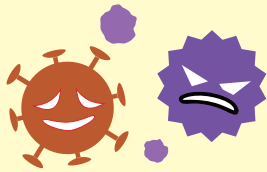
9月26日に自然災害時避難訓練兼災害時における業務継続計画研修を行いました。今回は同系統の研修を初めて同日に行いました。

災害時における業務継続計画研修では内水氾濫についての講義を行い、自然災害時避難訓練では、車椅子での垂直避難と乗降介助の演習を行いました。

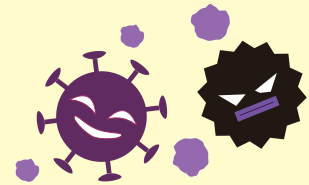


やまゆり荘周辺をハザードマップ等で確認すると、警戒区域等に指定される場所はなく、移動しないことが一番安全であると言えます。しかしながら、緊急を要する病気や想定外の気象現象により、避難や移動が必要とされることもあります。想定外とされる事案が発生した際でも、平常心で対応できることが望まれます。今後も安全な場所だからと慢心せず、多様な知識や技術を学び、緊急時に迅速に、安全に対応できるように努めていきたいと思います。

施設長 下前 剛次



感染症について



夏の猛暑が続いていたかと思ったら、急に朝晩肌寒くなってきました。寒くなり空気が乾燥するとインフルエンザ等の感染症が発症してきます。今回は感染症についての基礎を何回かに分けて述べたいと思います。

感染とは体内に病原体が入り込んだ状態。症状がなくても感染力がある状態のことを「不顕性感染」、検査で病原体が検出される人を「無症状病原体保有者」といいます。感染成立の3要素 **①感染経路** **②病原体(感染源)** **③宿主** 3要素が揃うことで感染が成立します。

感染対策では、3要素の1つでも取り除くことが重要です。病原体(感染源)とは、発病した人の唾液、嘔吐物、排泄物、血液など、発病者が触れた食器、触れた物体です。

感染症要因別対策 A: 感染源を取り除く(感染源対策)

- ・抗ウイルス薬や抗菌薬の投与
- ・加熱、消毒による排除
- ・感染者を休ませることや隔離 など



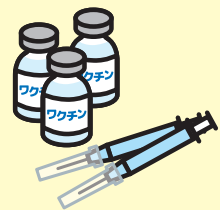
B: 感染経路を断つ(感染経路対策)

- ・マスク着用、換気、密の回避
- ・手指衛生、消毒、顔を触れない
- ・虫よけスプレーを使う、肌を露出しない など



C: 体の抵抗力を強くする(宿主の感受性対策)

- ・日常の健康管理、ワクチン接種



次回は感染経路、予防について記載します。

看護係 橋詰 正雄

編集後記



スーパーには栗やサンマなどの食材が並べられ、秋を感じます。今年の食事会は爽やかな秋空の下、入所者様の笑顔がたくさん見られました。

これからも、楽しく過ごしていただけるよう協力していきます。

事務係 綿貫 弘美